

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/09/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20171095175001	科目番号 / Subject code	10951750
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10011_421		
授業科目名 / Subject	教職の理解 / Understanding of the Role of Teacher		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠山 研 / Kusuyama Ken, 小原 達朗, 篠崎 信彦 / Nobuhiko Shinozaki, 友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠山 研 / Kusuyama Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	楠山 研 / Kusuyama Ken, 小原 達朗, 畑中 大路 / Taiji Hatanaka, 篠崎 信彦 / Nobuhiko Shinozaki, 友永 光幸 / Tomonaga Mitsuyuki		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 教職に関する科目 (第2欄), 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・2欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kusuyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (まずメールで連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	今日の急激な社会変化の中で、学校教育をめぐる様々な教育課題に適切に対処しつつ充実した教育指導を実現するためには教員の資質向上が必須である。本授業においては、そのような教職の意義についての理解を深め、学校における教師の役割について考察し、その役割を効果的に遂行するために必要な資質について考える。		
授業到達目標 / Goal	教職についての全体像を表明できること。 現代の児童生徒の実際について表明できること。 現代の教育課題について表明し、自ら探究できること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	本授業は、講義、グループワーク、質疑応答形式で行い、随時小レポートにより学びの過程を確認する。		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イントロダクション (授業の趣旨・概要の説明)</li> <li>2 現代の子どもの実態</li> <li>3 専門職としての教師</li> <li>4 組織としての学校</li> <li>5 公務員としての教師</li> <li>6 シリーズ学校経営の実際 (附属中学校の取組)</li> <li>7 シリーズ学校経営の実際 (附属特別支援学校の取組)</li> <li>8 シリーズ学校経営の実際 (附属幼稚園の取組)</li> <li>9 シリーズ学校経営の実際 (附属小学校の取組)</li> <li>10 シリーズ学校経営の実際 (教育行政の取組)</li> <li>11 シリーズ教育活動を考える (家庭教育の視点から)</li> <li>12 シリーズ教育活動を考える (子ども理解の視点から)</li> <li>13 シリーズ新しい教育課題 (特別支援教育の考え方進め方)</li> <li>14 シリーズ新しい教育課題 (体験活動の考え方進め方)</li> <li>15 先生になろう (模擬授業・場面指導のロールプレイング)</li> </ol>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	教師、専門職、学校経営、教育課題		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料を作成し配布する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各教員が指示する方法で評価。 60点以上が合格。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	学ぶ側から指導・支援する立場に思考や視点を180度切り替えるための科目です。		

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20171095179801	科目番号 / Subject code	10951798
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10041_042		
授業科目名 / Subject	乳幼児教育論 / Education for Preschool Children		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	脇 信明 / Nobuaki Waki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	脇 信明 / Nobuaki Waki		
科目分類 / Class type	教職に関する科目 (第3欄), カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nobuwaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	225研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2388		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	乳幼児期の子どもの理解をふまえた乳幼児教育の特質と方法についての基本的理解を深める。		
授業到達目標 / Goal	1. 乳幼児期の教育についての基本的な捉え方を理解する。 2. 乳幼児期の諸活動とりわけ「遊び」と子どもの成長との関連について説明できる。 3. 乳幼児教育の場 (幼稚園・認定こども園・保育所等) の社会的役割や違いについて説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的にはスライドによる説明を行うが、随時、幼児教育の現場の場面記録などを用いつつワークシートなどで主体的な学習に取り組むようにする。		
授業内容 / Class outline / Con	前半は乳幼児や保育の特質を学びつつ、後半は幼児教育や園の特質などの理解を深める。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	乳幼児、幼児教育、保育、遊び、幼稚園、認定こども園、保育所		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書：なし 参考書：幼稚園教育要領, 保育所保育指針, 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 教材：適宜配付		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	以下の項目による総合評価 ワークシート・・・20% レポート・・・30% 筆記テスト・・・50% レポートについては、記述内容を重視していますが、規程量の3/4程度未満の者、レポートの趣旨から外れているもの、その他不正なレポートには点数はないので留意してください。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業のオリエンテーション 乳幼児教育と保育とは何か		
第2回	乳幼児教育の特質 ～乳幼児にとっての遊びと学び～		
第3回	乳幼児教育の特質 ～環境を通じた保育・遊びによる総合的な保育～		
第4回	乳幼児教育の特質 ～乳幼児教育の2つの側面を事例から考える～		
第5回	乳幼児教育の場の理解 ～幼稚園・保育所・認定こども園とは～		

第6回	乳幼児教育の場の理解 ～乳幼児教育の場の社会的役割～
第7回	他国との幼児教育の比較～フランスにおける幼児教育の取り組み～
第8回	これまでの授業のポイントまとめ 筆記試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/11/21 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0, 2.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20171095195401	科目番号 / Subject code	10951954
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10031_424		
授業科目名 / Subject	障害児教育論 / Education for Children with Disabilities		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Class type	教職に関する科目, 教職に関する科目 (第3欄), カリキュラム外科目, 教職に関する科目, 学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全コース1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida@nagasaki-u.ac.jp (吉田)		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2394 (吉田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	附属特別支援学校校長及び教頭については授業終了後。 学部教員については研究室単位の指示に従うこと。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	障害児教育論は、障害のある子どもの特別支援教育に関する専門知識をわかりやすく講義し、あわせて附属特別支援学校での介護等体験実習に必要な事前学習を行うことをねらいとする。また、教職を目指す全学部学生が、近年の重点的な教育的課題として、インクルーシブ教育システムの構築と推進の動向と重要性の理解に到達できることを目的とした、基本的授業である。		
授業到達目標 / Goal	附属特別支援学校での実習での基礎、及び介護等体験実習に必要な実践的な知識の理解・修得、さらに特別支援教育に関する教育学・心理学・生理病理学に関する理論的基礎知識を理解・修得すること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	附属特別支援学校の校長・教頭、学部の教員による講義を中心に行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	介護等体験実習、障害のある子どもの理解と支援		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	茂木俊彦：障害児教育を考える (岩波新書) 文部科学省：特別支援学校学習指導要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領。 他、適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	第5回の授業において小レポートを実施 (40点)。 第1回、第6回、第7回、第8回の4回はふりかえり用紙の記入と提出を求める (各5点 4、20点) 学期末レポート (40点)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	特別支援学校教諭免許の履修を希望する学生には基礎の導入として、希望しない学生には、障害のある子どもへの理解を深めるにおける唯一の機会です。参加観察実習の基礎的位置づけとして積極的に学んでください。障害児を巡る時事問題については各自で敏感になってほしいです。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 障害児の教育 (特別支援教育) の現状と課題 (学部教員: 吉田)		
第2回	附属特別支援学校教員 (校長もしくは教頭) の講義 1		
第3回	附属特別支援学校教員 (校長もしくは教頭) の講義 2		

第4回	附属特別支援学校教員(校長もしくは教頭)の講義 3
第5回	附属特別支援学校教員(校長もしくは教頭)の講義 4
第6回	学部教員(石川): インクルージョンと特別支援教育(障害児の教育学領域から)
第7回	学部教員(高橋): 障害のある子どもの理解と支援(障害児の心理学領域から)
第8回	学部教員(吉田): 障害のある子どもの理解と支援(障害児の指導法・心理学領域から) 授業のまとめ(発達障害に関するアセスメント演習を含む)

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20171095524601	科目番号 / Subject code	10955246
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10081_181		
授業科目名 / Subject	環境教育 / Environmental Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部共通科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学部2, 3, 4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino@nagasaki-u.ac.jp, n-fuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	本館415室 (星野), 美術・技術棟111室 (藤本)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332 (星野), 095-819-2360 (藤本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日以外の昼休み (星野), 在室時は常時可 (藤本)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学校教育における環境教育の意義を踏まえた後、環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因がどのように環境や人間に影響を与え、社会が、それをどのように扱って行けば良いのかを自らの調査を基に考え、発表する。また、ドイツの環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境教育のあるべき姿を探る。環境教育の導入となる科目である。		
授業到達目標/Goal	学校教育における環境教育の意義を述べるようになる。環境と社会と関わりについて、法的な知識と理解度を高めると共に、現代社会の中で環境要因が具体的にどのように環境や人間に影響を与え、社会がそれをどのように扱って行けば良いのかを多角的に調べ、環境教育のあるべき姿を述べるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	受講者自らが課題を設定し、その課題を解決するために、教科書、配布資料、参考書等で学習するとともに、課題と課題解決のために学習した内容をレポートとし、発表する。また、学習した内容に応じてプレゼンテーションを学生自らが行う。授業中に学習内容の定着度を図る目的で小テストを数回課す。		

授業内容/Class outline/Con	<p>0 第1回 オリエンテーションとイントロダクション。 学校教育と環境教育の違い</p> <p>1 第2回 学校教育と環境教育の違い</p> <p>2 第3回 環境教育の授業構成</p> <p>3 第4回 ESD (持続発展教育)</p> <p>4 第5回 ESD (持続発展教育)</p> <p>5 第6回 オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリントを課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題(事項と内容)プリントを課す。【課題：個人レポート】</p> <p>6 第7回 本授業で取り上げる8つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。テーマ1について、星野から必須学習事項についてプレゼンテーション(15分程度)。【課題 (A4, 1枚) : テーマ1について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。】</p> <p>7 第8回 班ごとにテーマ1について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ2について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ2について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ1の小テスト問題投票】</p> <p>8 第9回 班ごとにテーマ2について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ3について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ3について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ2の小テスト問題投票】</p> <p>9 第10回 班ごとにテーマ3について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ4について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ4について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ3の小テスト問題投票】</p> <p>10 第11回 班ごとにテーマ4について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ5について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ5について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ4の小テスト問題投票】</p> <p>11 第12回 班ごとにテーマ5について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ6について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ6について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ5の小テスト問題投票】</p> <p>12 第13回 班ごとにテーマ6について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ7について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ7について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ6の小テスト問題投票】</p> <p>13 第14回 班ごとにテーマ7について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ8について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題 (A4, 1枚) : テーマ8について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題 : LACS上でテーマ7の小テスト問題投票】</p> <p>14 第15回 班ごとにテーマ8について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。授業のまとめを、一人2分間でプレゼンテーションを行う。【課題 : LACS上でテーマ8の小テスト問題投票】</p> <p>15 第16回 定期試験</p>
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	環境に関する新聞記事を事前に調べておくこと。
キーワード/Key word	環境基本法、環境基準、化学物質のリスク、ドイツの環境事情、環境教育
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>参考書1 : 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会</p> <p>参考書2 : 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版</p>
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中の小テスト、課題レポート、発表、定期考査を行って評価する。評価割合は、定期考査50%、授業中の小テスト20%、課題レポート20%、発表10%とし、総合点で評価する。合格基準は、総合点で60%以上とする。
受講要件(履修条件)/Requirements	環境教育に興味関心の高い人を望む。
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各回の小テスト作成を真摯に行うこと。学校現場で子どもたちに何を伝え、どのような活動を行なわせる(あるいは自主的な取組みに導く)には何が必要かを念頭に置いて、授業に取組んで欲しい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。 学校教育と環境教育の違い

第2回	学校教育と環境教育の違い
第3回	環境教育の授業構成
第4回	ESD（持続発展教育）
第5回	ESD（持続発展教育）
第6回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリントを課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題（事項と内容）プリントを課す。【課題：個人レポート】
第7回	本授業で取り上げる8つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。テーマ1について、星野から必須学習事項についてプレゼンテーション（15分程度）。【課題（A4,1枚）：テーマ1について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。】
第8回	班ごとにテーマ1について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ2について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ2について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ1の小テスト問題投票】
第9回	班ごとにテーマ2について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ3について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ3について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ2の小テスト問題投票】
第10回	班ごとにテーマ3について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ4について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ4について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ3の小テスト問題投票】
第11回	班ごとにテーマ4について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ5について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ5について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ4の小テスト問題投票】
第12回	班ごとにテーマ5について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ6について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ6について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ5の小テスト問題投票】
第13回	班ごとにテーマ6について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ7について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ7について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ6の小テスト問題投票】
第14回	班ごとにテーマ7について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。テーマ8について、一人2分間で必須学習事項についてプレゼンテーションを行う。【課題（A4,1枚）：テーマ8について必須学習事項1つを調べ、かつ児童・生徒に学校の中で理解させたいこと、活動させたいこと。課題：LACS上でテーマ7の小テスト問題投票】
第15回	班ごとにテーマ8について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題をLACSに挙げる。授業のまとめを、一人2分間でプレゼンテーションを行う。【課題：LACS上でテーマ8の小テスト問題投票】
第16回	定期試験



学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/09/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20171095530701	科目番号 / Subject code	10955307
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10071_422		
授業科目名 / Subject	国際理解教育論 / Introduction to the Theory of International Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠山 研 / Kusuyama Ken, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠山 研 / Kusuyama Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	楠山 研 / Kusuyama Ken, 井手 弘人 / Ide Hiroto		
科目分類 / Class type	教科又は教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目, 学部モジュール科目		
対象年次 / Year	2	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	グローバル教育・学生支援課 文教スカイホール		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kusuyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずメールで連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	諸外国の教育や学校の様子を知り、日本と異なっている部分があるののかについて、社会背景を含めて考えます。 またいくつかの国や地域については詳細に学習し、制度にとどまらず実際の部分についても考え、理解を深めていきます。 同時にこうした学習を通じて、日本の教育の特徴を考えるとともに、日本の中にも言語や文化をめぐる様々な問題があることを知り、解決策を探っていきます。		
授業到達目標/Goal	1. 諸外国の教育や学校の様子や、そうした状況が生み出される背景を理解できる。 2. 日本においても言語や文化をめぐる問題があることを理解できる。 3. これらを踏まえて、日本の教育や学校の特徴を把握し、日本の教育について考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式を中心に、適宜活動や討論を含めて授業を進めていきます。授業中に指示する小レポート・アンケート等も、授業の一環として重視します (具体的には各担当教員が説明を行います)。		
授業内容/Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 諸外国の教育が共通して抱えている課題 3 同じ目的、異なる方法 (教育制度からみえてくるもの) 4 同じ目的、異なる方法 (カリキュラムからみえてくるもの) 5 同じ方法、異なる目的 (各国の教育実践をめぐって1) 新しい教科への対応 6 同じ方法、異なる目的 (各国の教育実践をめぐって2) 改革への対応 7 国境を越える子どもたち 8 海外にある学校と日本にある学校 9 国際理解教育の実践前提 (1) - 東アジアにおける「知」の国家戦略とナショナル・カリキュラムデザイン 10 国際理解教育の実践前提 (2) - 「内なる『知』」と「外への『知』」: アイデンティティとコンピテンシー 11 国際理解教育の実践 (1) - 歴史教育対話: 初等教育における「エティック」と「イーミック」の取り扱い 12 国際理解教育の実践 (2) - 初等教育における「トランスナショナル・リテラシー」の授業デザイン 13 国際理解教育の実践 (3) 演習: 総合的な学習の時間「国際理解」を想定したロールプレイ (模擬授業) 14 事例研究 (外国の教育を知ること) 15 学生として私たちができること、できないこと		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	諸外国の教育、内なる国際化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しません。参考書は授業中に適宜紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各担当教員が授業開始時に説明を行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特にありません		

アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>あいさつ、掃除、授業風景、掲示物...日常の学校空間での「あたりまえ」ひとつひとつが本当に「あたりまえ」なのか、意識しておきましょう。</p>

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/09/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20171095559801	科目番号 / Subject code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Subject	教育心理学[a班][2015-] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 純治 / Harada Jiyunji		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生(クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程1年次生(a班)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部2階(222室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。メールにて問い合わせのこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	将来教職に就く者にとって、教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行うかあたり、児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等に関する教育心理学的知識や児童生徒観・教育観などについての習得が必要とされる。		
授業到達目標/Goal	1. 教育的諸事象を教育心理学の視点から捉え考察することができる。 2. 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てる手法を案出できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式。毎授業最終時間帯に「学んで考えたこと、気づいたこと」を記す課題を課す。		
授業内容/Class outline/Con	学校教育における教育心理学及びその知見の重要性について説明する。その後、各回の授業では児童生徒の発達、学習、パーソナリティ、教育評価などに関する教育心理学の知見、法則、理論を紹介し考察を加える。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	発達、学習、人格と適応、教育評価、集団の心理と指導、発達障害、教師の心理		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に定めず、授業内容に関する資料を適宜配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. 課題に対する取組状況(20%) 振り返り、調べ学習など 2. 定期試験(80%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	単元(発達、学習などの)終了時点で小テスト(確認テスト)を行うことがある。ノートによる授業の振り返りを毎講義受講後に行っておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教育心理学の役割と特徴		
第2回	発達 学校教育と発達に関する理解、乳幼児期の心理		
第3回	発達 児童期の心理		
第4回	発達 青年期の心理		
第5回	学習と指導 学校教育と学習、学習に関する諸理論		
第6回	学習と指導 学習理論に基づく学習法		
第7回	学習と指導 学習の動機づけ		
第8回	人格と適応 学校教育とパーソナリティの理解		
第9回	人格と適応 パーソナリティと適応		

第10回	人格と適応 パーソナリティの測定手法
第11回	教育評価
第12回	教師の心理
第13回	学級集団の心理と指導
第14回	発達障害の理解
第15回	学校教育心理学の研究法
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/09/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20171095559801	科目番号 / Subject code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Subject	教育心理学[a班][2015-] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 純治 / Harada Jiyunji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 純治 / Harada Jiyunji		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生(クラス等) / Object Student	学校教育教員養成課程1年次生(a班)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	harada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部2階(222室)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。メールにて問い合わせのこと。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	将来教職に就く者にとって、教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行うかあたり、児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等に関する教育心理学的知識や児童生徒観・教育観などについての習得が必要とされる。		
授業到達目標/Goal	1. 教育的諸事象を教育心理学の視点から捉え考察することができる。 2. 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てる手法を案出できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式。毎授業最終時間帯に「学んで考えたこと、気づいたこと」を記す課題を課す。		
授業内容/Class outline/Con	学校教育における教育心理学及びその知見の重要性について説明する。その後、各回の授業では児童生徒の発達、学習、パーソナリティ、教育評価などに関する教育心理学の知見、法則、理論を紹介し考察を加える。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	発達、学習、人格と適応、教育評価、集団の心理と指導、発達障害、教師の心理		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に定めず、授業内容に関する資料を適宜配付する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. 課題に対する取組状況(20%) 振り返り、調べ学習など 2. 定期試験(80%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	単元(発達、学習などの)終了時点で小テスト(確認テスト)を行うことがある。ノートによる授業の振り返りを毎講義受講後に行っておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教育心理学の役割と特徴		
第2回	発達 学校教育と発達に関する理解、乳幼児期の心理		
第3回	発達 児童期の心理		
第4回	発達 青年期の心理		
第5回	学習と指導 学校教育と学習、学習に関する諸理論		
第6回	学習と指導 学習理論に基づく学習法		
第7回	学習と指導 学習の動機づけ		
第8回	人格と適応 学校教育とパーソナリティの理解		
第9回	人格と適応 パーソナリティと適応		

第10回	人格と適応 パーソナリティの測定手法
第11回	教育評価
第12回	教師の心理
第13回	学級集団の心理と指導
第14回	発達障害の理解
第15回	学校教育心理学の研究法
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/01 ~ 2017/09/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20171095559802	科目番号 / Subject code	10955598
科目ナンバリングコード / Numbering Code	EDMC 10021_412		
授業科目名 / Subject	教育心理学[b班][2015-] / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
科目分類 / Class type	学部モジュール科目, 教職免許科目・3欄		
対象年次 / Year	1	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taniguti@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部215番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日14:30 ~ 15:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	学校場面における様々な教育的事象を説明する上で有効となる心理学の諸理論について理解すること。		
授業到達目標/Goal	多様な教育実践的諸問題を心理学の視点から捉え考察することができる。心理学の知見を効果的な指導に役立てることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	主として、講義形式(視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用)で行う予定にしているが、少人数グループによる事前学習、発表、討論、事後学習などを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 教育的諸問題を解決する上で有効となる心理学の諸理論や技法について解説する。本講義では、とりわけ、発達、学習、子どもの理解・指導など、教育実践と密接に関連したトピックを取り上げる。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	グループ学習による予習・発表・復習の一連のプロセスでは、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、担当内容に関する理解を深めてほしい。		
キーワード/Key word	教育心理学・発達・学習・学級集団・教育評価		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	精選コンパクト教育心理学 教師になる人のために 北大路書房		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験100% 授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は期末試験60%以上		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講人数が非常に多く、大教室での講義となるが、講義や発表にきちんと耳を傾け、その内容を正しく理解すること。また、質疑応答にも積極的に参加すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教育心理学の目的・対象・領域		
第2回	教育心理学の研究法・学習法		
第3回	発達と教育		
第4回	認知発達論(1):ピアジェの認知発達段階		
第5回	認知発達論(2):心の理論		
第6回	性格形成		
第7回	社会性と社会的スキルの発達		

第8回	学習の動機づけ(1)：内発的動機づけ
第9回	学習の動機づけ(2)：原因帰属
第10回	学習の認知プロセス(1)：記憶のプロセス
第11回	学習の認知プロセス(2)：効果的学習法
第12回	学級の間関係と教師のリーダーシップ
第13回	心理検査と心理療法
第14回	教育評価の考え方と実際(1)：評価の目的・基準
第15回	教育評価の考え方と実際(2)：評価の対象・方法
第16回	定期試験